

平成25年5月24日
農 林 中 央 金 庫

投資信託の基準価額下落にあたってのレポートのご提供について

平成25年5月23日の日経平均の終値が前日比で大幅に下落したことに伴い、弊社金庫で取扱いのある「J A T O P I Xオープン」「農中日経225オープン」「農中日本株オープン」「J A日本株式ファンド」について基準価額が前日比5%以上下落いたしました。

本件を受けまして、運用会社である農林中金全共連アセットマネジメント株式会社がレポートを作成しましたので、お知らせいたします。

なお、本レポートにつきましては、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社のホームページにも掲載いたしております。

【後添資料】

弊社ファンドの基準価額の下落について 3枚

(本件に関する照会先)

農林中央金庫 本店業務部 TEL03-5222-3099

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社 TEL0120-439-244

(受付時間 9:00~17:00 土日祝日を除く)

平成 25 年 5 月 24 日

受益者の皆様へ

弊社ファンドの基準価額の下落について

弊社業務につきましては、日頃より大変お世話になっております。

さて、昨日 5 月 23 日（木）、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して 5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	5 月 23 日の 基準価額	前営業日比	ベンチマーク	5 月 23 日の 騰落率
JA TOPIX オープン	10,147 円	▲745 円 (▲6.84%)	TOPIX	▲6.87%
農中日経 225 オープン	10,070 円	▲793 円 (▲7.30%)	日経平均株価	▲7.32%

○市況動向

5 月 23 日（木）の国内株式市場は、TOPIX が前営業日比▲87.69 ポイント（▲6.87%）の 1,188.34 ポイント、日経平均株価が前営業日比▲1,143.28 円（▲7.32%）の 14,483.98 円と大幅に下落しました。

この背景としましては、

- ① 前日の米 FRB 議長の「年末にも QE3 縮小」への言及による米国金利の上昇を受け、国内金利が乱高下したこと
- ② 日本時間の午前中に発表された中国の経済指標が市場予想を下回り、中国景気に対する先行き懸念が高まったこと
- ③ これまでの日本株の上昇ペースが速く、過熱感が生じていたことから、利益確定を含めたポジション調整が入りやすかったこと

などが考えられます。

○今後の運用

基準価額の下落は、ファンドが組入れている国内株式の多くが下落したことに起因しており、当ファンドの騰落率につきましては、ベンチマークとほぼ同水準となっています。

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。引き続き、ベンチマークに連動した投資成果を目指す運用に注力してまいります。

以 上

商号等 農林中央金庫
登録金融機関
関東財務局長（登金）第270号
加入協会
日本証券業協会
社団法人金融先物取引業協会

当資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。将来の市場環境の変動等により、運用方針は変更される場合があります。投資信託は貯金（預金）保険制度の対象ではありません。当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではなく、勧誘目的のための資料でもありません。ご購入の際は必ず約款をご覧ください。投資信託は、値動きの生じる証券に投資しますので、基準価額は日々変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは投資信託をご購入のお客様に負っていただくことになります。

平成 25 年 5 月 24 日

受益者の皆様へ

弊社ファンドの基準価額の下落について

弊社業務につきましては、日頃より大変お世話になっております。

さて、昨日 5 月 23 日（木）、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して 5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	5 月 23 日の基準価額	前営業日比
農中日本株オープン (愛称：ニューチョイス)	6,956 円	▲504 円 (▲6.76%)

○市況動向

5月23日（木）の国内株式市場は、TOPIXが前営業日比▲87.69ポイント（▲6.87%）の1,188.34ポイント、日経平均株価が前営業日比▲1,143.28円（▲7.32%）の14,483.98円と大幅に下落しました。

この背景としましては、

- ① 前日の米 FRB 議長の「年末にも QE 3 縮小」への言及による米国金利の上昇を受け、国内金利が乱高下したこと
- ② 日本時間の午前中に発表された中国の経済指標が市場予想を下回り、中国景気に対する先行き懸念が高まったこと
- ③ これまでの日本株の上昇ペースが速く、過熱感が生じていたことから、利益確定を含めたポジション調整が入りやすかったこと

などが考えられます。

○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。金利や為替などの外部環境に注視しつつ、国内景気見通しや企業業績動向などを慎重に見極め、適宜銘柄入替を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

以 上

商号等 農林中央金庫 登録金融機関 関東財務局長（登金）第270号 加入協会 日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会

平成 25 年 5 月 24 日

受益者の皆様へ

弊社ファンドの基準価額の下落について

弊社業務につきましては、日頃より大変お世話になっております。

さて、昨日 5 月 23 日（木）、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して 5%以上下落しており、その要因につきましてご報告いたします。

ファンド名	5 月 23 日の基準価額	前営業日比
JA 日本株式ファンド	11,260 円	▲818 円（▲6.77%）

○市況動向

5月23日（木）の国内株式市場は、TOPIXが前営業日比▲87.69ポイント（▲6.87%）の1,188.34ポイント、日経平均株価が前営業日比▲1,143.28円（▲7.32%）の14,483.98円と大幅に下落しました。

この背景としましては、

- ① 前日の米 FRB 議長の「年末にも QE 3 縮小」への言及による米国金利の上昇を受け、国内金利が乱高下したこと
- ② 日本時間の午前中に発表された中国の経済指標が市場予想を下回り、中国景気に対する先行き懸念が高まったこと
- ③ これまでの日本株の上昇ペースが速く、過熱感が生じていたことから、利益確定を含めたポジション調整が入りやすかったこと

などが考えられます。

○今後の運用

今後の運用につきましては、基本的な運用方針に変更はありません。金利や為替などの外部環境に注視しつつ、国内景気見通しや企業業績動向などを慎重に見極め、適宜銘柄入替を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

以 上

商号等 農林中央金庫
登録金融機関
関東財務局長（登金）第270号
加入協会
日本証券業協会
社団法人金融先物取引業協会

当資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。将来の市場環境の変動等により、運用方針は変更される場合があります。投資信託は貯金（預金）保険制度の対象ではありません。当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではなく、勧誘目的のための資料でもありません。ご購入の際は必ず目論見書をご覧ください。投資信託は、値動きの生じる証券に投資しますので、基準価額は日々変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは投資信託をご購入のお客様に負っていただくことになります。